

2017年3月期 第3四半期 決算概要

2017年2月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

第3四半期 決算ハイライト

国内は受注活発化の兆し、海外は現地通貨ベースで好調を維持。
中期経営計画(VC2020)の各施策は計画通りに進捗中。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比98%、269億円。
	日本	前年同期比で横ばいの115億円。家電関連が引き続き軟調となるも自動車関連に受注活発化の兆し。
	中国	為替変動の影響により邦貨ベースでは前年同期比96%の128億円。引き続き自動車関連は好調、加えて高付加価値の戦略製品も伸長。現地通貨ベースでは前年同期を大きく上回った。
	その他	前年同期比で横ばいの24億円。シンガポール、タイ等が低調に推移するも、欧州、ベトナム、インドが好調。
利益		営業利益は前年同期比90%の14億円。原価率が海外を中心に良化するも売上減少の影響等により減益。一方、為替リスクヘッジを行ったことにより、営業外損益が改善し、経常利益は13億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円。
ネット資金		ベトナム工場関連の投資等により、期首から16億円減少。

□2017年3月期 第3四半期の決算ハイライトです。

□2017年3月期 第3四半期は、結果的には減収減益でしたが、国内は受注活発化の兆し、海外は現地通貨ベースで好調を維持しています。中期経営計画(VC2020)の各施策も計画通りに進捗しています。

□日本は、家電関連が引き続き軟調となったものの、自動車関連に受注活発化の兆しが見受けられ、前年同期比で横ばいとなりました。

□中国は、引き続き自動車関連が好調なことに加え、高付加価値の戦略製品も伸長し、現地通貨ベースでは二桁成長でしたが、円高人民元安の影響により、邦貨ベースでは減収となりました。

□その他の地域は、シンガポール、タイ等が低調に推移したものの、欧州、ベトナム、インドが好調に推移し、前年同期比で横ばいとなりました。

□利益については、原価率が海外を中心に良化したものの、売上減少による影響等により、営業利益は14億円と減益、一方、人民元における為替リスクヘッジにより営業外損益が改善し、経常利益は13億円と増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円と前年同期比横ばいとなりました。

決算概況

(単位:百万円)

	2016年3月期 第3四半期累計		2017年3月期 第3四半期累計		前年同期差	前年同期比
売上高	27,458		26,926		▲531	98.1%
営業利益	5.6%	1,550	5.2%	1,405	▲145	90.6%
経常利益	4.8%	1,304	5.0%	1,340	36	102.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3.3%	915	3.4%	909	▲5	99.4%

□決算数値の概要です。

□売上高は269億円で、前年同期比98%、5.3億円の減収となりました。

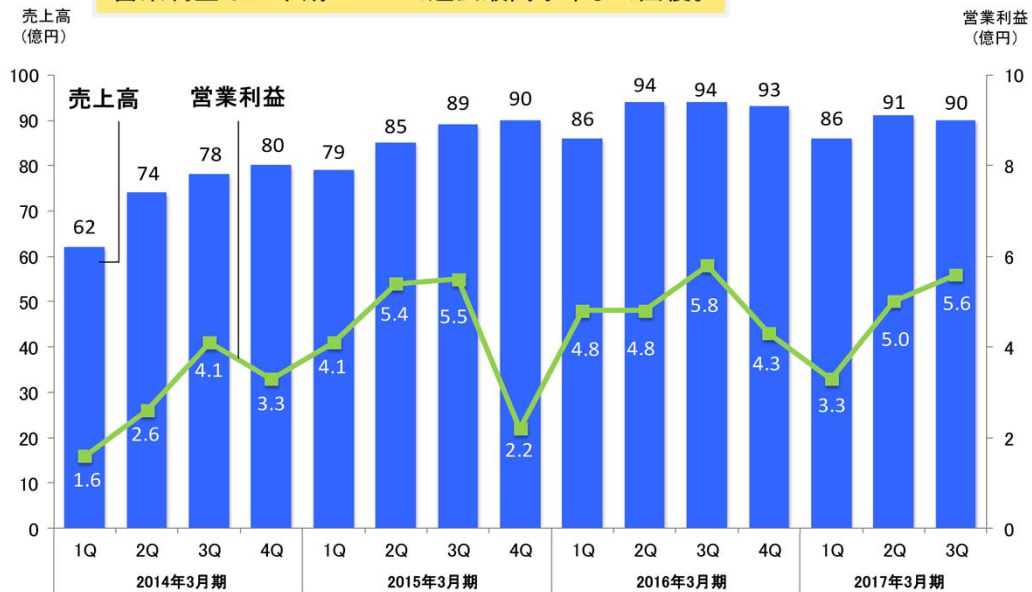
営業利益は14億円、

経常利益は13億円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円となりました。

売上高と営業利益の推移

営業利益は四半期ベースで過去最高水準まで回復。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

3

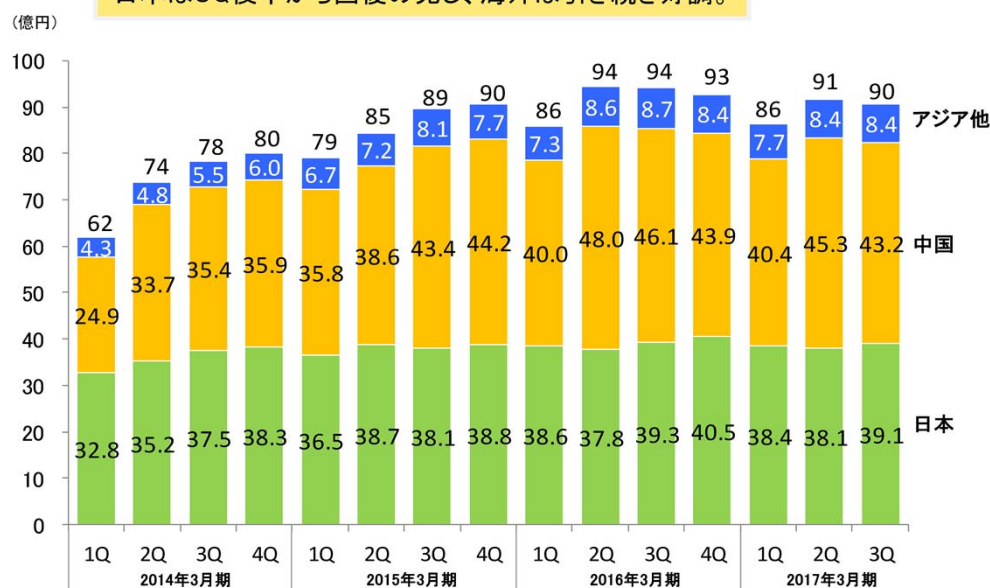
□四半期ベースの売上高と営業利益の推移です。

□当第3四半期の売上は、日本では市況に明るい兆しが見え始め、中国、欧州等では引き続き好調を維持するも為替の影響により減収となり、全体では前年同期を下回る90億円にとどまりました。

□営業利益は、第1四半期で減益となりましたが、その後回復に転じ、当第3四半期では、前年度の第3四半期に記録した、四半期ベースで過去最高の営業利益5.8億円にあと一步というところまで回復することができました。

地域別売上高

日本は3Q後半から回復の兆し、海外は引き続き好調。



□地域別の売上高です。

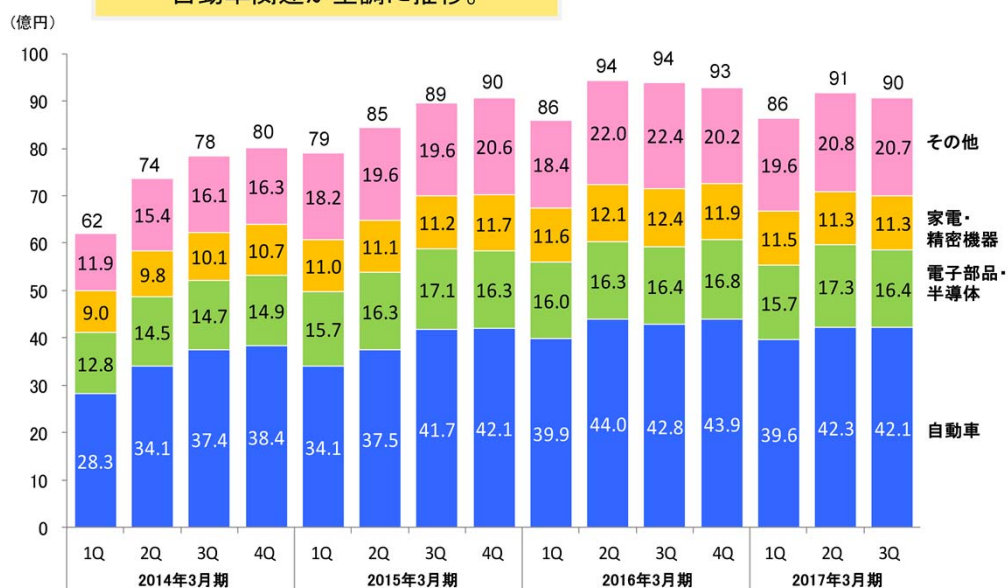
□日本は、当第3四半期の後半から産業機械等が動き始め、自動車関連を中心に大口案件が増えたものの、力強さに欠け、結果的には前年同期比で横ばいとなりました。リバースエンジニアリングによる新市場の開拓、営業支援システムの導入等により、第4四半期には増収を目指します。

□中国は、第2四半期と同様、現地通貨ベースでは伸長しているものの、円高人民元安の影響により、邦貨ベースで減収となりました。

□アジア他は、欧州、ベトナム、インドが好調に推移していますが、こちらも円高の影響により、邦貨ベースでは前年同期比で横ばいとなりました。

業種別売上高

自動車関連が堅調に推移。

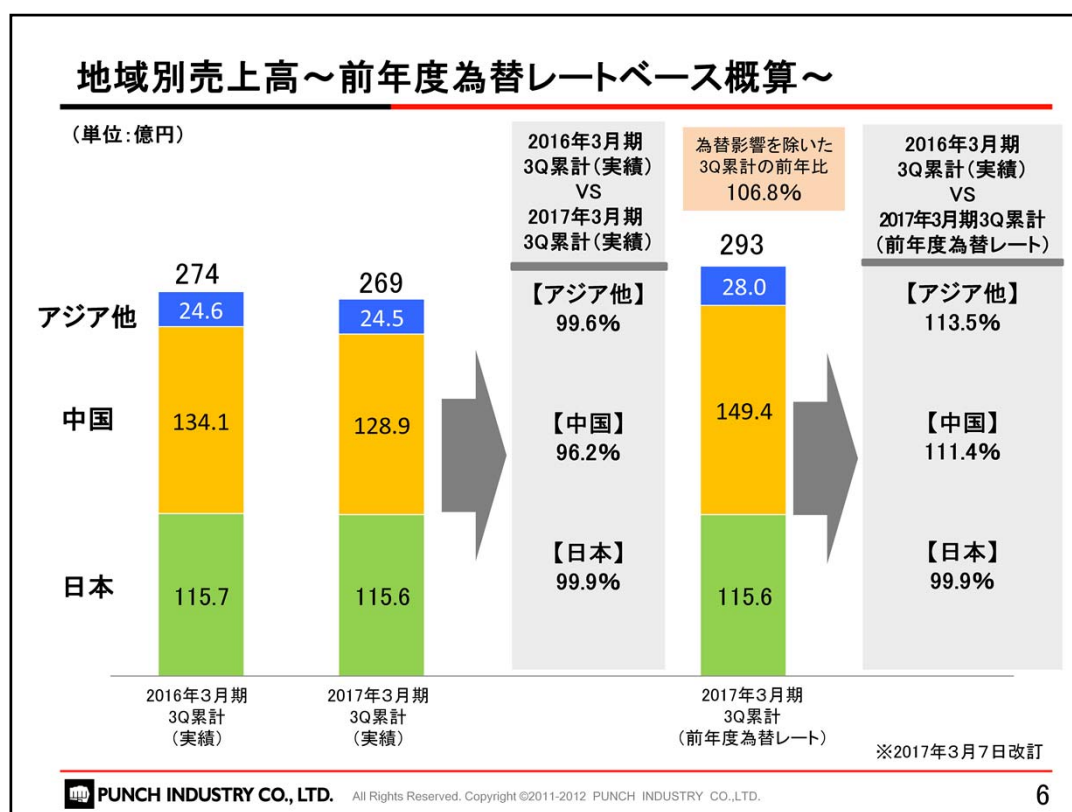


□業種別売上高のグラフです。

□自動車関連では、日本は遅れていた新車プロジェクトにもようやく動きがありましたが、中国が為替の影響により減収となり、自動車関連全体の売上は前年割れとなりました。

□自動車以外の業種では、日本は半導体や産業機械、中国は精密機器、電子部品が好調に推移しました。

□「その他」の中でも、日本は医療関連、中国は食品関連が好調に推移しました。



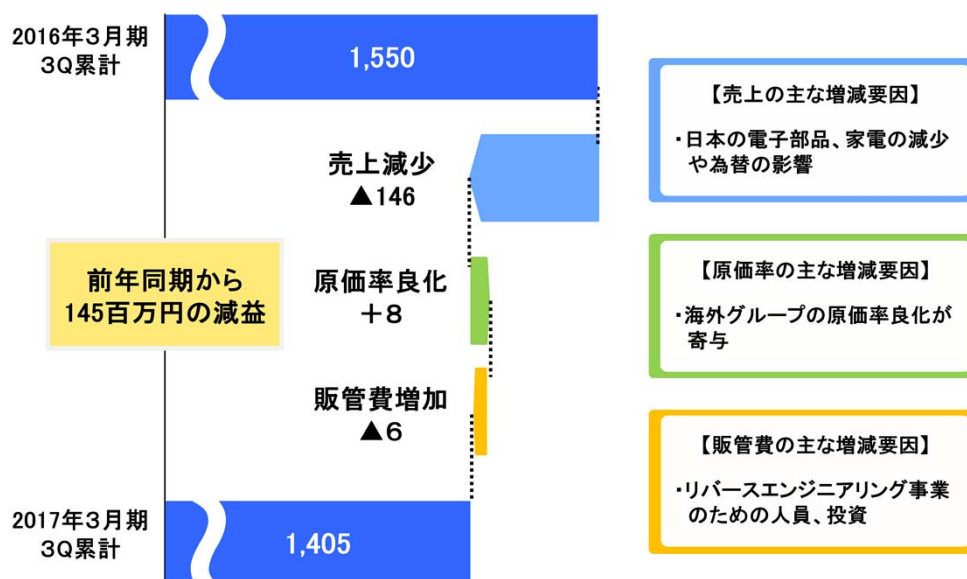
□当第3四半期の地域別売上高を前年度為替レートベースに置き換えたグラフです。

□中国やアジアその他の地域では、現地通貨ベースの売上は伸びていますが、円高の影響で、邦貨ベースでは減収となっています。

□為替影響を除くと、中国は111%、アジア他は113%の伸びとなり、全体の売上高は、あと24億円ほど増加し、前年比は106%になります。

営業利益増減

(単位:百万円)



□営業利益の増減グラフです。

□日本の電子部品、家電の売上減少等により、1.4億円の利益減となりました。

□原価率は海外グループ等で改善が見られ、8百万円の利益増となりました。

□販管費はリバースエンジニアリング事業への投資等より増加し、6百万円の利益減となりました。

□その結果、前年同期の15.5億円が当期実績としては14億円となり、前年同期に対し1.4億円の減益となりました。

財務状況

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	27,337	27,256	▲81
総負債	13,338	14,736	1,397
うち有利子負債	5,429	6,673	1,243
純資産	13,999	12,520	▲1,479
ネット資金	▲2,108	▲3,710	▲1,602
自己資本比率	51.2%	45.9%	▲5.3pt
	2016年3月期 第3四半期累計	2017年3月期 第3四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	867	2,366	1,499
減価償却費(無形固定資産含む)	1,067	1,024	▲43

□財務状況です。

□総資産は、主として現金及び預金の減少により、272億円となりました。

□総負債は、主として借入金の増加により、147億円となりました。

□純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加と為替換算調整勘定の減少により、125億円となりました。

□自己資本比率は、為替換算調整勘定の減少や借入金の増加等により、45.9%となりました。

□設備投資額は、前年同期から14億円増加しています。第2四半期に引き続きベトナム工場関連の投資に加え、日本のリバースエンジニアリング事業や中国の特注品強化のため、積極的な設備投資を進めています。

2017年3月期通期連結業績予想数値の修正及び配当

(単位:百万円)

	2017年3月期			【参考】 2016年3月期 実績
	期初予想 (5/11公表)	修正予想 (11/10公表)	修正予想差 (修正予想比)	
売上高	37,000	35,700	▲1,300 (96.5%)	36,755
営業利益	5.4% 2,000	5.0% 1,800	▲200 (90.0%)	5.4% 1,986
経常利益	5.2% 1,935	4.8% 1,700	▲235 (87.9%)	4.5% 1,666
親会社株主に帰属 する当期純利益	3.8% 1,400	3.5% 1,250	▲150 (89.3%)	3.4% 1,249
2017年3月期 配当予想	中間 13円(実施) + 期末 13円 = 26円			

□2017年3月期業績予想数値及び配当です。

□昨年11月公表の業績予想から変更はありませんが、足下では、海外は引き続き堅調に推移しており、日本は特注品の受注に動きが出てきましたので、この動きをしっかり捉えていきます。

□配当は、安定的な配当を継続していくことを基本に、年間配当は前年度よりも1円増配である26円を予定しています。

□中期経営計画(VC2020)の経営目標達成の肝となるグループの生産移管も順調に進捗しています。昨年10月にはベトナム工場が本稼働を開始し、次のステップに向けた準備に入っています。同じく昨年12月には米国に販売拠点を設立し、今年4月からの営業開始に向け、こちらもグループを挙げて準備を進めています。また、これらの様々な施策を着実に実行するためのベースとして、働き方改革にも取組みつつ、目標達成に向けた機能強化のための組織変更を行います。

□今年度も残り2ヵ月となりました。通期業績予想を確実に達成し、4月から良いスタートが切れるよう、引き続き全力で取り組みます。

■各資料につきましては、弊社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2017/>

参考資料

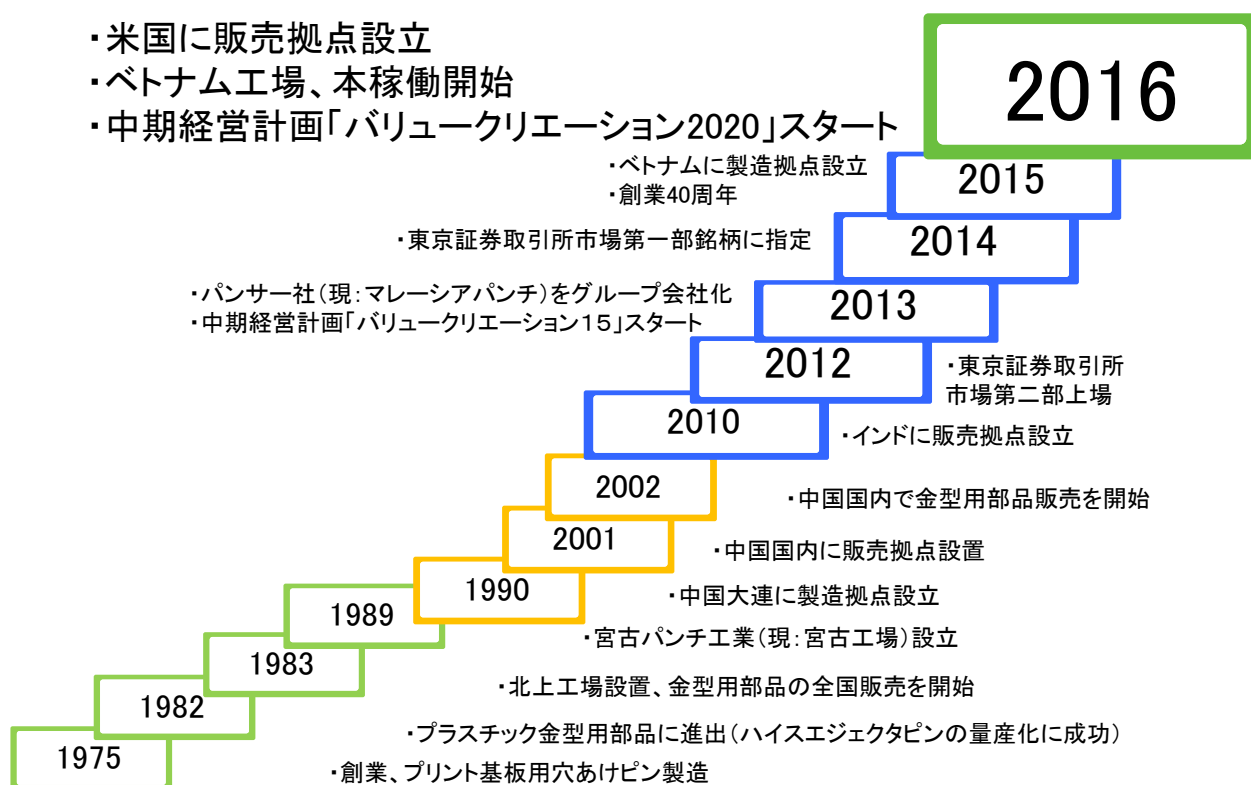
 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,836名(グループ連結、2016年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。

沿革



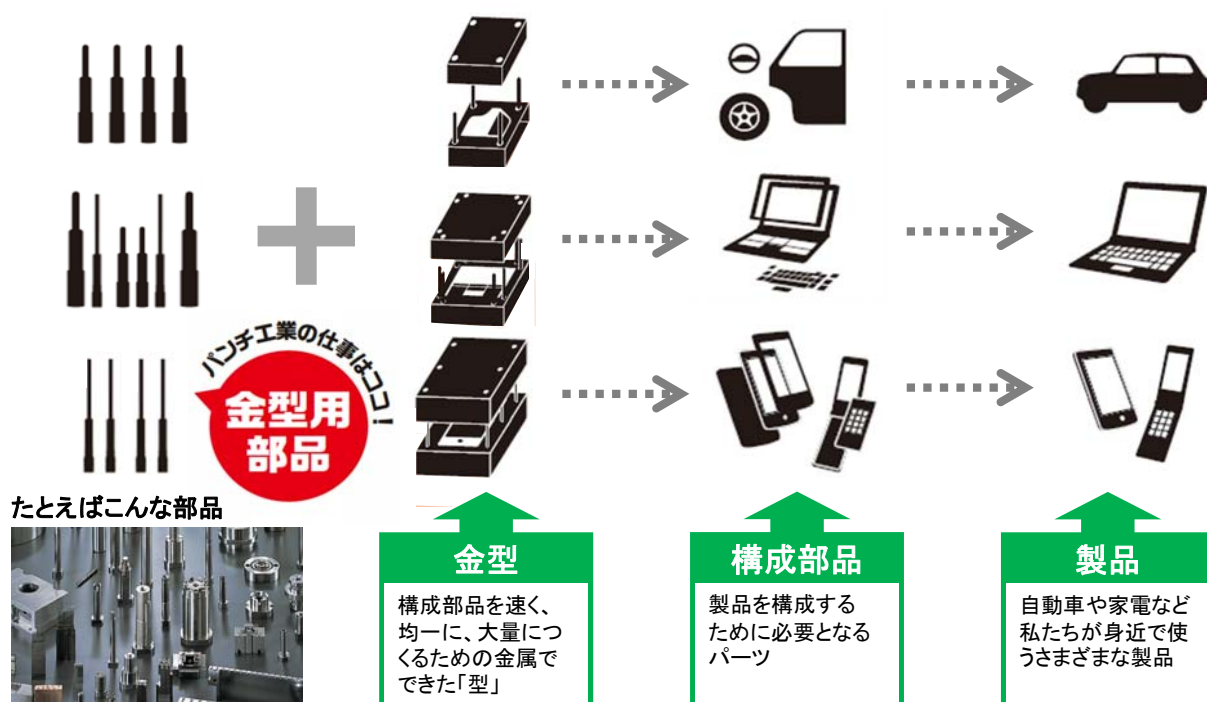
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

12

事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売

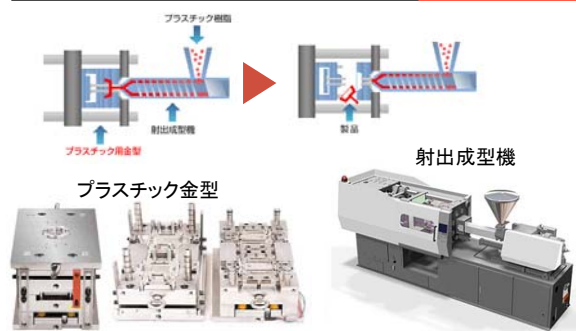


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

13

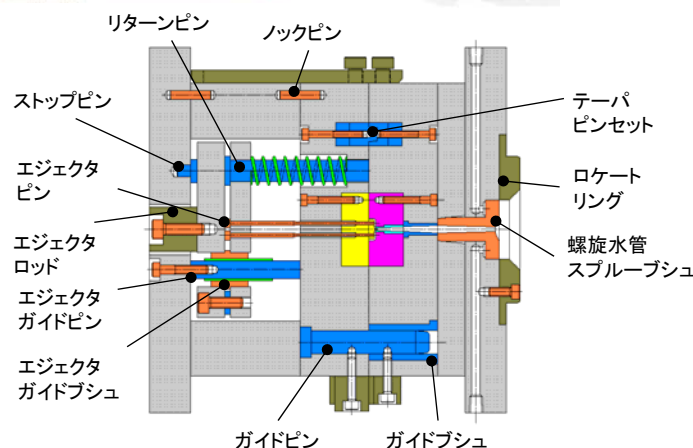
プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケットリング



●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っています。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

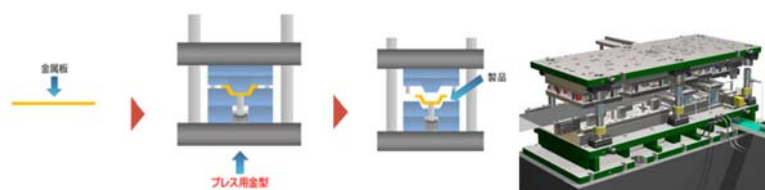


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

14

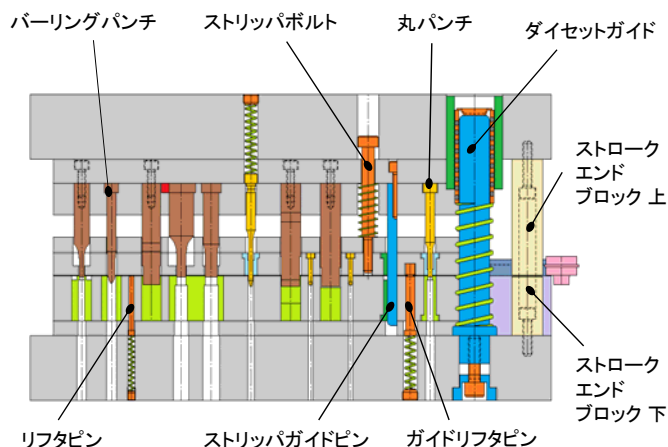
プレス金型と金型用部品



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っています。

パンチ..... パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド... 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品



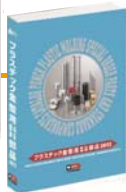
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

15

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一貫通貫の生産体制
1,800台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

16

CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

17

ステークホルダーとのコミュニケーション



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

18

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
 また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。